



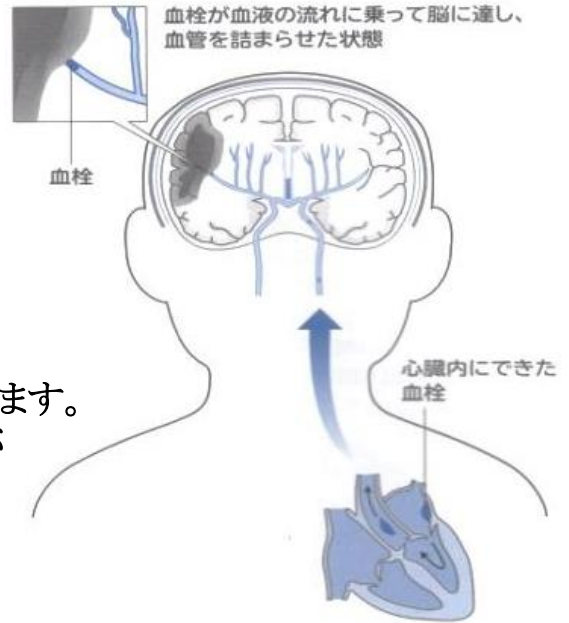
健康長寿ポイント

「脳卒中」の〈脳塞栓症〉脳以外の場所で出来た血栓が、血流によって脳の血管に運ばれ、その一部を閉塞すると脳梗塞をひき起こします。

その原因のほとんどが、不整脈などにより心臓内にできた血栓。こうして起きた脳梗塞を「心原性脳塞栓症」と呼んでいます。

心臓内にできた血栓のほかに、太い血管の壁にできた血栓がはがれて、脳塞栓症をひき起こすこともあります。

●心原性脳塞栓症 心臓内にできる血栓は大きなものが多く、これが脳に達すると、脳の太い動脈を閉塞させてしまいます。このため心原性脳塞栓症は、重い症状になる傾向があり、症状が突然起こるという特徴があります。



コミュニティ 行事予定

令和2年度が始まり、早くも2か月が過ぎようとしています。今年はコロナウイルス感染症対策のため、何もかもが始まらなかったり遅れてしまっている状況です。

コミュニティの事業も延期・中止の対応をとることになりました。

ふれあいセンターの貸館中止も5月31日まで延期となりました。
 ※状況によって変更になる場合があります。

ふれあいセンターは開館しています。

5/27	料理教室	中止
5/27	絵手紙教室	中止
5/27	リフレッシュ教室	中止
5/28	女性講座	6/18に延期
5/31	浅水ふれあい運動会	中止
6/7	ふるスポ(ソフト・バレー)	中止
6/19	ユニカール(ふるスポ)	中止

6月からの運営に関しましては、市の方針が決まり次第お知らせします。

支援員のつづやき

～実録！緊急通報システム～

みなさん、登米市の『ひとりぐらし緊急通報システム』知っていますか？
1人暮らしの方の自宅に緊急通報機器を設置し、緊急時に対処できる体制をとるものです。
簡単に説明すると、自宅にセンサーと通報装置が貸与され、通報ボタンを押したりセンサーに一定時間反応がないと対応してくれるものです。



対象者

登米市内在住の

1. おおむね65歳以上の1人暮らし、または高齢者のみの世帯の人
2. 1人暮らしの身体障害者など



内容

1. 緊急ボタンが押されたり取り付けしたセンサーに一定時間反応がないと自動で通報が入ります
 2. 利用者からの通報に看護師が確認・アドバイスをしたり、必要に応じて協力者への確認依頼や救急車の出動要請を行います
- * 緊急時に訪問して確認してくれるなどの協力者がろ名必要（原則）
 - * 固定電話が必要

ボタンを押すと、本体や電話で様子を聞かれます。応答がない場合や、様子を確認する必要がある場合は、協力員に連絡が来ます。



私のおばあさんの妹がこれに申し込んでいます。
その緊急通報システムを体験した時のお話・・・

強風と雨が降る夜の9時半に家の電話が鳴り、「〇〇さんの緊急通報ボタンが押されました。呼びかけていますが応答がありません。確認に行ってくださいますか？」と。
私は大急ぎで向かいました。向かう最中何が起きたのか考え、対処法と救急車を呼ぶなら住所は何だったかなど、いろんなことが頭を巡り、心臓はドキドキ。
家に着くと電気はついていますが誰もいません。すべての部屋を見ましたがどこにもいない・・・焦りました。何が起きたのか？！ペンダントのボタンが押されてるこのことで、家の周りで倒れたのかと探しに行こうと思いました。
そこに私の弟が来たのです。「〇〇さんならうちに來てるよ」と。はっ！とした私は気づきました。『弟の子供が押したのか！』すぐに受信センターに連絡し、理由を説明しました。
この装置は、家で1人でいる時になにかあったら使うもので、外には持ち歩かないようにと注意を受けました。登録地点に本人がいないと、緊急時に早く見つけることもできなくなってしまいます。しばらく気が抜けましたが、貴重な経験ができました。

これからの主な事業・行事

5月

- 13日(水) 男の料理教室 絵手紙教室
- 17日(日) 奉仕作業(長谷)
- 23日(土) 生活支援部会①
- 27日(水) 料理教室 絵手紙教室
- 28日(木) 女性講座(つまみ細工)

5月

5月31日まで貸館中止

事業もすべて中止

浅水ふれあい運動会は中止



浅水ふれあい運動会は中止となります

